



保健医療福祉分野における アントレプレナーシップ教育の開発推進

作業療法学科

上原 栄一郎 准教授

【研究分野】 アントレプレナーシップ教育、精神科作業療法、精神科デイケア、WEBモニタ
【キーワード】 アントレプレナーシップ、精神科、作業療法、当事者、授業
【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=280ueha>



研究概要

昨今Entrepreneurship（以下EP）は小中学生から教育され、EP学部を持つ大学もあり、発達段階毎に教育が進んでいる。一方、本学をはじめ保健医療福祉分野の養成教育は、伝統的にクリニカル技能や知識教育が中心で、資格取得や実習対策が優先される。EPは、起業家精神などとされるが、新規ビジネスを創業する起業家教育と、創造性、積極性など広い知識や態度を含むEP教育に分けられ、**「自ら社会の課題を発見し、周囲のリソースや環境の制限を越えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神」**と定義される。本研究では地域に新たな価値を生む県大生を輩出するため、保健医療福祉分野におけるEP教育の開発を行う。

講座テーマ紹介

2024年度 アントレプレナーシップ教育講座開催

（教育・研究・地域連携の一体的推進事業2024年度採択課題）

1) 学内導入キャンペーンの開催：アントレプレナー（起業家）は、家業を営む者や起業などを身近で見た経験者が多いとされる。それらに習い適正な露出は何よりもの教育であり、集中的な詰込みEP教育では得られない効果があるとされる。よってまずは学内メール、ポスター、説明会開催などアナウンス活動を活発に発信し導入を図る。

2) プロジェクトレクチャー：プロジェクト参加者を学科学年、教職員問わず全体に公募する。EP教育と学生、さらに教職員を結びつけ、異なる専門領域からの知識交流を促進する。講座は隔週開催2コマ連続講座×5つのテーマで5回開催し、地域プロジェクト実践を課題として設定する。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| テーマ1：課題に気づく力を育む授業 | ：自身の身の回りの商品やサービス経緯を知る |
| テーマ2：創造する力を育む授業 | ：発想力、独創力から開発を行い発表と意見交換 |
| テーマ3：企画型授業 | ：チームワークで企画を実行する体験を積む |
| テーマ4：自分を知る授業 | ：自身の夢の公開と将来史を構築する |
| テーマ5：起業家から学ぶ授業 | ：起業家の自己実現や社会貢献を知り学ぶ |

3) 地域プロジェクト実践：プロジェクトレクチャーで得た知見と実践力で、地域課題や問題をとらえ、学生主体でリアルな地域連携インターンシッププログラムを構成し、実践体験を重ねる。プロジェクトの成果を積極的に共有するため、報告会を開催しシェアする。

アピールポイントなど

2024年度アントレプレナーシップ教育講座は、プロジェクト参加希望者を学科学年、教職員を問わず全体公募するため、まさに学生教職員連携プロジェクトとしての取り組みとなる。共同創造的な情報交換の有り方が有機的なネットワーク構築を促進し、研究概要で前述したEP教育の目的達成を目指す。